



旧見付学校だより vol. 87

平成 30 年 2 月 20 日

磐田文庫と見付学校

旧見付学校の北側に磐田文庫という土蔵どそうがあります。旧見付学校とともに国の史跡になっています。磐田文庫とはどのような施設だったのでしょうか。

磐田文庫は元治元年（1864）に作られました。淡海國玉神社（中の宮）しんかん 神官で国学者のおおくぼただなお大久保忠尚が自宅で私塾を開いていましたが、



弟子たちの読書の必要性を感じ、自らも出資するとともに、有志者で蔵を建て、たくさんの書物を集めて弟子たちに読ませました。現代の図書館というところでしょうか。また、そこで学んだ弟子たちが見付学校を作る大きな力となっています。



磐田文庫の入り口はお宮の方を向いています。大久保家を作ったものなので、入り口は大久保家の方にあっても不思議ではありませんが、まだ身分制度の厳しい時代、大久保家の中を通って蔵には行きづらかったと思います。誰でも来られるお宮を通った方

が行きやすかったでしょう。忠尚は弟子たちの使いやすさを考えたようです。明治12年（1879）、蔵の建設資金の返済が済んだところで、磐田文庫とその蔵書は見付学校に寄贈されました。

旧見付学校におこしの際は、ぜひ磐田文庫の展示もご覧ください。

職員一同お待ちしております。

〒438-0086 磐田市見付 2452

磐田市旧見付学校 TEL & FAX 0538-32-4511

（休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始）

2月の休館日：2/26

3月の休館日：3/5、12、19、22、26